

## 2022年度事業計画書

### 相談、助言

- 1 盲導犬使用者への指導・相談・助言等を積極的に行う。
  - (1) 盲導犬使用希望者に対する相談・助言
  - (2) 盲導犬使用者への定期的な歩行指導及び相談・助言（フォローアップ）
  - (3) 盲導犬使用者との意見交換会の実施

### 調査、資料収集

- 1 関係団体等との連携による調査、研究及び情報交換の促進を図る。
  - (1) 全国盲導犬施設連合会（他の育成団体含む）
  - (2) 日本盲人社会福祉施設協議会
  - (3) 国際盲導犬連盟加盟団体—IGDF（International Guide Dog Federation）
  - (4) アジア盲導犬繁殖犬ネットワーク—AGBN（Asia Guide Dogs Breeding Network）
  - (5) 関係研究機関等（宇都宮大学・帯広畜産大学）
  - (6) 地方自治体及び網膜色素変性症協会(JRPS) 栃木支部や社会福祉協議会・栃木県視覚障害者福祉協会
  - (7) 視覚障害リハビリテーション協会

### キャンペーン

- 1 盲導犬普及啓発事業を積極的に展開する。
  - (1) 視覚障害者や視覚障害者団体に対する情報の提供及び生活訓練の実施
  - (2) 全国盲導犬施設連合会主催の盲導犬育成キャンペーンへの参加
  - (3) 各種団体の要請による盲導犬の啓発・実演・講演等の実施
  - (4) 施設見学会の積極的な実施
  - (5) 会報誌、東日本盲導犬協会だより「絆」の発行
  - (6) 啓発用資料等の作成
  - (7) ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)による情報発信
- 2 盲導犬育成事業の協力者・支援者等と共同で行うイベント「盲導犬ふれあいデー」を開催する。

### 事業区分に該当しない事業

- 1 盲導犬候補犬の適正な管理及び飼育委託の拡充強化を図る。
  - (1) 盲導犬候補犬の飼育委託の充実を図る。
  - (2) 盲導犬候補犬の訓練を強化し、良質な盲導犬の育成に努める。
  - (3) 盲導犬候補犬の適正な管理を行うため、飼育委託者の研修を充実する。

- 2 盲導犬候補犬の計画的な繁殖及び積極的な確保に努める。
  - (1) 国内の盲導犬育成団体等との協力を促進し、盲導犬候補犬の確保に努める。
  - (2) アジア盲導犬繁殖犬ネットワーク—AGBN (Asia Guide Dogs Breeding Network)との協力と連携を促進する。
  - (3) 凍結精子を用いた繁殖技術の確立をはじめとする発生工学技術を活用した盲導犬の人工繁殖に関する調査・研究（大学等の関係機関と連携）を促進する。
- 3 盲導犬7頭の育成に努める。
  - (1) 栃木県・茨城県・千葉県・山形県・東京都の委託契約に努める。
  - (2) 自治体の委託契約が困難なときは、民間助成団体への支援協力要請に努める。
- 4 盲導犬育成に伴う財源確保の充実強化に努める。
  - (1) 大型店舗施設等において街頭募金活動を積極的に展開する。
  - (2) 募金箱設置者の拡大と適正な管理に努める。
  - (3) 盲導犬育成募金自動販売機の設置促進の支援に努める。
  - (4) 国をはじめ関係機関へ積極的に働きかけを行う。
  - (5) 賛助会員制度の拡充に努める。
  - (6) その他イベント等の開催に努める。
- 5 職員研修の充実強化を図る。
  - (1) 全国盲導犬施設連合会主催の各種研修会等への参加
  - (2) 視覚障害リハビリテーション研究発表大会への参加
  - (3) その他、職員の資質向上を図る研修会等への積極的な参加
  - (4) 国際盲導犬連盟主催の研修会等への参加
- 6 盲導犬育成ボランティア等の確保と育成・指導に努める。
  - (1) 繁殖犬飼育奉仕者（ブリーディングウォーカー）の確保と指導
  - (2) 盲導犬候補犬飼育奉仕者（パピーウォーカー）の確保と指導
  - (3) 引退犬飼育奉仕者（引退犬オーナー）の確保と指導
  - (4) 盲導犬育成事業への支援ボランティアの確保と育成及び指導